

研究紹介

医療技術科学専攻
血液病態検査学

祇園由佳

Yuka GION



MTX関連リンパ増殖性疾患の予後因子の解明に取り組んでいます

MTX関連リンパ増殖性疾患（MTX-LPD）は、関節リウマチなどの自己免疫性疾患に対して、免疫抑制剤であるMTX治療を受けている患者さんに発生するリンパ増殖性疾患です。見た目は「リンパ腫（血液のがんの一種）」と全く区別が付きません。しかし、MTX-LPDの特徴として、約30%の症例ではMTXを休薬するだけで病変が自然消褪します。その場合、化学療法のような患者さんの負担になる治療は必要ありません。しかし、自然消褪しない症例や再発した場合には、リンパ腫に対するものと同等の化学療法が必要となります。つまり、予後を予測できる因子が解明できれば、患者さんにより適切な診断・治療を提供することが可能となります。

これまで私の研究グループでは、組織学的差がMTX-LPDの予後因子になり得る可能性を世界ではじめて報告しました（*Cancer Sci.* 2017）。現在も、病理学的面や遺伝子解析の面から病態解明に取り組んでいます。研究に興味をお持ちの方は、ぜひお声かけください！

Profile

博士（医学）、臨床検査技師、細胞検査士、遺伝子分析科学認定士（初級）。

岡山大学医学部保健学科を卒業後、岡山大学大学院保健学研究科博士前期課程を経て、岡山医療センターに臨床検査技師として就職。その後、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科腫瘍病理学講座で技術職員として勤務しつつ、博士後期課程修了。2018年7月から2021年8月まで岡山大学大学院保健学研究科で助教として勤務。2021年9月から愛媛県立医療技術大学に勤務。

専門分野：血液病理。分子病理学的解析を得意としています。